

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 17 日作成)

委員会名	音響数値解析 WG	主 査 名：大鶴 徹
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(音環境小委員会)	委員長名：藤本 一壽
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	(初年度の活動計画) 1. ベンチマーク問題群の設定に関する議論 2. WWW 上への公開に向けたシステム作りおよび公開 3. 解析結果の収集	
委員構成 (委員名(所属))	大鶴徹(大分大学、主査) 佐久間哲哉(東京大学、幹事) 坂本慎一(東京大学、幹事) 河井康人(関西大学) 堀之内吉成(京都大学) 鮫島俊哉(九州大学) 大嶋卓哉(新潟大学) 富来礼次(大分大学) 安田洋介(東京大学) 横田考俊(東京大学) 池田雅弘(ヤマハ) 大久保朝直(小林理研) 高橋顕吾(ヤマハ)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2003 年度予算	84000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回委員会(5 月 19 日・13 名) 第 2 回(6 月 24 日・12 名) 第 3 回(8 月 1 日・11 名) 第 4 回(10 月 17 日・12 名) 第 5 回(12 月 5 日・13 名) 第 6 回(2 月 27 日・13 名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 計 6 回の委員会を開催し、ベンチマーク問題群に関し活発な議論を行った。その結果、3 カテゴリー、basic, practical の 2 type, 全 25 題の問題群を試行的に採用し、更に検討を重ねている。 2. 併せて、WWW 上のデータベースとして自律的に運用可能なシステムの基本設計を行った。 3. 以上の成果に基づき、インターネット上のウェブサイト(http://gacoust.hwe.oita-u.ac.jp/TCCA-RRT/index.html)を開設、試行的な運用を開始した。 4. 検討過程で得られた有益な知見は、次年度の建築学会大会その他(例えば ICA 等)で積極的に公表していく予定。 5. 自律更新型データベースとして学術・技術・社会的に貢献できるよう WWW を通じて寄せられる意見等も取り入れ、更なる検討を重ねていく計画である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 機種選定に慎重を期したため機材導入がやや遅れ、ウェブサイト立ち上げに手間取った。しかし全 6 回の委員会では活発な議論がなされ、その成果が WWW へ反映されている。ベンチマーク問題群も、単純で基礎的なものから、遮音塀やスピーカあるいはホール等、実務的なもの、資料として貴重なものまで網羅しつつある。 以上、初年度の目標の達成度は十分と判断される。
その他評価すべき事項	